

# 「大雨行動訓練(避難判断編)」の目的と流れ



## ■目的

- 水害は、雨量や水位に応じて刻々とリスクが変化し、そのリスクもお住まいの条件（地形、建物、河川との距離等）によって、地域一様ではありません。
- 「大雨行動訓練（避難判断編）」では、水害の進展を体験しながら、どの局面で避難判断を行い、どのようなタイミングで避難行動を移すのかを、各個人が各々考える、体験シミュレーション型の訓練です。

## ■流れ

### ①カード作成

河川名	川
水位観測所名	
決壊による 自宅の浸水深	m
はんらん 氾濫危険水位	m
避難判断水位	m
はんらん 氾濫注意水位	m
普通の水位	m

### 水位計の位置と見方を知る

- 河川には「水位計」があり、テレビの「dボタン」等で、誰でもその瞬間の「水位」を知ることができます。
- カード作成を通じて、時々刻々と変化する川の危険度を知るために、水位の見方と避難判断の目安を学びます。

### ②避難判断 トレーニング



### 適切な避難のタイミングを考える

- 特定の水害シナリオ（タイムライン）に応じて、行政等から提供される情報を体験し、避難すべきタイミングを考えます。

### ③クロスロード



### 水害対応に「正解」はないことを学ぶ

- 「クロスロード」とは、「岐路」「分かれ道」のことです。
- 水害対応には「正解はない」といわれ、たくさんの「分かれ道」があります。
- 様々な「分かれ道」を通じて、適切な状況判断力を身に付け、「自分の命は自分で守る」力を養います。